

2009 年

4 月 4 日（土曜日） - 夢にいっぱいあふれた球場で！ 「マルハンカップ少年野球大会」 -

本日、「第 5 回マルハンカップ少年野球大会」が（株）マルハン様と峰山少年野球振興会様の共催により峰山町内の 5 チーム含め市内から 10 チーム、宮津・与謝から 2 チームの 12 少年野球チームが参加され、盛大に開催されました。

この峰山球場では、毎年 4 月にプロ野球ウエスタンリーグの公式戦を開催いただいています。多くのプロ野球選手・関係者からも土の質、管理状態などをはじめ素晴らしい球場であるとお褒めもいただいております。私たちの自慢の球場です。

この素晴らしい峰山球場は、峰山町でご創業され、今や我が国のパチンコ、エンターテインメント業界を先頭に立ってリードされておられる（株）マルハンのハン会長のお亡くなりになられたご息様が小学生の時にお書きになられた「ぼくのゆめ」と題された作文※の中に、「町営グラウンドをつくる」と夢を熱く綴られたことが大きな御由縁となり御寄附を賜り、建設されたものです。そのような、夢がかたちになり、夢がいっぱいあふれた球場であります。

少年たちには限りない可能性にあふれています。この「夢」のいっぱいあった球場で、それぞれの夢に向かって思い切ったプレーを尽くしてほしい。この球場での少年たちの一挙手一投足がそれぞれの夢への大なる糧となり、実り豊かな大会となりますことを心から確信しています。

-ぼくのゆめ-

※ 作文原文

- ぼくのゆめ -

ぼくは、町のためにやくだつ。ぜったいに。

たとえば小学校を作る。そしてほどうきょうを作る、こうみんかんをたてる、小学校中学校にプール 50m、スキーじょうを作る、としょかんを作る、ガードレールを作る、のうきょうを作る、みね山小学校を 300 かいにする、こうえんを作る、町えいグラウンドを作る、道を作る、じゅうどうのどうじょうをつくる、ごみやきばを 100 かしょつくる、おんせんを作る、すいえいたいかいをする、サッカーたいかいをする、ボウリングたいかい、ゴルフたいかい、それぞれを作ったりひらいたりしてゆたかなくらしにする。(峰山小学校三年 韓 哲)